

No.410

次は105年後！ 金星の太陽面通過

—6月6日、太陽にできる金星のシルエットを見よう—

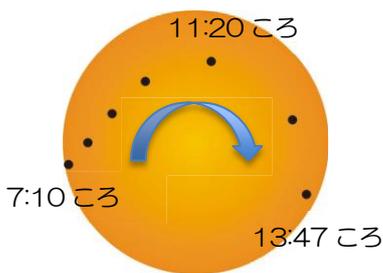
日食につづく太陽の大イベントです！

5月21日（月）の日食につづいて6月6日（水）、太陽でもう一つの大イベントがおこります。その名も「金星の太陽面通過」。金星が太陽と地球のちょうど間を通り、太陽を専用の望遠鏡^{ぼうえんきょう}で拡大して見ると、金星が小さな黒い丸のシルエットとして見え、ゆっくりと動いていくというものです。



前回、日本で見られるチャンスがあったのは8年前の2004年6月8日でしたが、全国的に梅雨^{つゆ}に入り天気が悪く、富山でも大雨のため見ることはできませんでした。今回は105年後の2117年12月11日ですから、ほとんどの人にとって今回が最初で最後の観察チャンスです。そしてこの現象は、金星が太陽の周りを回っている動きを直接体験できる、めったにないチャンスなのです。

今回の見え方

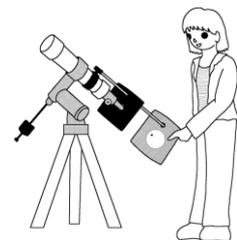


6月6日（水）の朝7時10分頃、太陽の左のほうから金星のシルエットが見えはじめ、午後1時47分頃まで見ることができます。金星は太陽の手前を一直線に動いていくのですが、地面に立っている人にとって太陽は時間とともに回転して見えますので、金星も左の絵のようにカーブを描いて動くように見えます。

観察するときの注意

日食と同じく、絶対に望遠鏡^{ぼうえんきょう}などで太陽を直接見ないでください。金星は小さくしか見えないので、倍率^{ばいりつ}をかけなければ見づらいのですが、目のいい人には日食観察用のメガネで見えるかもしれません。望遠鏡で太陽を観察するための「投影法^{とうえいほう}」などの方法がよいでしょう。

(林 忠史)



「投影法」での太陽の観察

富山市天文台では特別観測会を行います。ご来館をお待ちしております。

特別観測会「一生に一度の金星の太陽面通過を見よう」6月6日（水）朝7時～午後2時

また富山市天文台ではインターネット中継も行います。

富山市天文台ホームページ <http://www.tsm.toyama.toyama.jp/tao/index-j.htm>